



～ 夢ひとすじに ～  
**宮原中だより**  
学び 磨き 鍛え 羽ばたけ

平成30年度 第1号  
平成30年4月9日(月)発行  
さいたま市立宮原中学校  
ホームページアドレス  
<http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp>  
メールアドレス  
miyahara-j@saitama-city.ed.jp

## 新年度のスタートにあたって

校長 松井 聡

さわやかな春風が心地よく吹き抜け、桜もいつしか葉桜の季節となりました。

宮原中学校も、希望と期待に満ちあふれた314名の新入生とともに、新年度がいよいよ始まりました。

この度、平成30年度の人事異動により、小林広利校長先生の後任として着任いたしました。地域の皆様に支えられ、多くの輝かしい歴史を築いてきた伝統ある宮原中学校のさらなる発展のために一所懸命精進し、学校づくりに邁進する決意でございます。今年度も昨年度までの校訓「夢ひとすじに」学校教育目標「学び 磨き 鍛え 羽ばたけ」を継承し、その具現化を目指して教職員一同一丸となって努力して参ります。

さて、本校ではこれまで以下のような生徒像を実現できるよう、具体的に6つの行動目標を設定し日々の指導を実践してきました。

### 目指す生徒像 — 自信と誇りある自分自身の実現 —

〔「凡事一流」に行動することで、自信と誇りある自分づくりを実践できる生徒〕

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| ① さわやかなあいさつができる     | ② 校歌を大切に、心を込めしっかり歌える |
| ③ 靴のかかとをしっかりとそろえられる | ④ 身の回りをきれいに清掃できる     |
| ⑤ 時間の大切さを知り、時間を守れる  | ⑥ 誰かがつらい時、共感的な言葉が言える |

教育学者の森信三先生は、人間の生活にとって大切な三原則として「時を守り、場を清め、礼を正す」ということばを述べています。これらは、まさに私たちの生活習慣の基本であり、社会で生活していく中でしっかり身につけていかななくてはならないことです。このことは、学校にもそのまま当てはまります。「時を守り、場を清め、礼を正す」の三原則が根付いた学校では、生徒の心が落ち着き、日々の生活や授業が順調に進むので学校全体の成績も良い場合がほとんどです。

森先生の言う三つの原則は、正に当たり前のこと(凡事)です。しかしこれらを継続していくのはとても難しいことです。宮原中の生徒には、この三原則を極めることのできる「一流な中学生」であってほしいと願っています。そして、自分を支えてくれる周囲の人々や学校に対して感謝の気持ちを大切にできるとともに、思いやりのある温かい生徒であってほしいと思います。

結びになりますが、教育は「家庭でしつけられ、学校で学び、地域で育つ」と言われるように極めて総合的な営みと言われています。学校、家庭、地域の三者がその役割を果たしながら、互いに協力・連携し合っこそ、子どもたちを健全に育ていけるものと考えております。今後も温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。